



釧公大だより

AURORA



平成28年度 学位記授与式（平成29年3月23日）

東日本大震災により被災された学生に対し、引き続き経済的支援を行っています。

この震災により入学金や授業料の納付が困難となった学生に対して、入学金の免除や授業料の減免を行っています。

ご相談については、事務局学生課までお問い合わせください。

CONTENTS

- 学長メッセージ…………… 2
- 退職教員あいさつ・新任教員紹介…………… 3
- 留学を終えて・学生による市民講座…………… 4
- 大学ニュース・年間スケジュール…………… 5
- 活躍する教員
- 学生のページ…………… 6
- 卒業生からのメッセージ…………… 7
- 就職戦線最新情報…………… 8



友あり、遠方より来る

釧路公立大学学長 高野 敏行

すでに当たり前のことになってしまい、まだ一年しかたっていないのかと改めて思っていますが、昨年3月に道東自動車道の阿寒インターが開通しました。それに合わせて、釧路新道も延長され、大学から空港までの所要時間が20分程度になりました。大学から札幌までを新道・自動車道を乗り継ぐと4時間台です。久しぶりに大学に来る人たちは、まさに異口同音、「変わったね」と驚きを口にします。大学の環境という意味では、文苑地区の開発に次ぐくらい大きな変化だと思います。

今回は、その高速道・新道を通して大学をたずねてくれた何人かのことを書くことにします。気が付くと、全員が40代半ばの男性の話になります。

10月には1期生の二人が大学を訪れてくれました。彼ら二人は出身地で暮らしており、青森と十勝からの来訪です。卒業後20数年にもなりますが、1期ですから在学生総数は250名です。ほとんどの学生の顔を見知っていましたし、学生たちの大学内外での生活ぶりもかなりくわしく知っていました。二人は夏はサッカー部、冬はアイスホッケー部、さらに一年を通してバレーボールをやっていました。学生、教員ともに彼らのことを（あと二人を加えて）「公立大四天王」と呼んでいました。「あのころは、毎朝起きたらすぐに、今日はあいつとサッカーしてと、友人に会うことばかり考えていて、テレビとか、ほかの遊びのことは考えたことがなかった」という回想でした。さすが四天王です。

こんな学生時代についての話から始まり、卒業後に彼らの人生に起こった出来事などについて、興味深い話題がたくさん出ました。かなり辛かった状況などについても笑顔で冗談交じりに語る様子は、彼らの精神的な成長を大いに感じさせてくれました。

今回は、現役サッカー部とのOB戦をするために釧路訪問ということでした。現役学生との交流というのもうれしい動きです。

11月には神奈川と山形からの二人組が訪ねてくれました。こちらの二人は2期生で、現在は出身

地で働いています。スポーツには無縁の二人ですが、大学時代にお互いの読書の対象が一部重なっていたことがきっかけで語り合うようになり、自分のもっていないものをもつ友人として互いを認め合って、卒業後も連絡を取り合っているそうです。二人の話からは互いが精神的な支えとなっている様子がうかがえ、思わず、「こんな友人をもてた人生でよかったな」と言ってしまいました。

3月初旬には、以前本学で英語を担当していた大貫先生（現関西学院大学）をお招きして、地域・産業研究会を開催しました。その会とその後の食事会には、ほぼ同時期に本学に着任したメンバーを中心に、若い先生たちが集まりました。参加者で年齢が高かったのは、私と図書館長の白川先生でした。

大貫先生の発表は、ある特定の地域の歴史・社会・人間についての文学による記述がもつ可能性を考えてみようというものでした。今回は、英国ウエールズの一部地域を舞台とした、R. ウイリアムズの小説が材料として取り上げられていました。

研究会後食事をとりながら、大貫先生の発表に対して先生たちから質問・感想・意見がたくさん出されました。もちろん、文学、歴史学、社会学、哲学などそれぞれの研究領域に足場を置いた発言で、なるほどそう来るかと感心するものばかりでした。これらに対する大貫先生からの応答ぶりも（私からは）実に面白いものでした。双方の発言内容そのものも興味深いのですが、やり取りのスピード、論理展開の速さには驚きました。私はあとからよたよたとついていくのがやつの有様でした。別々の場で研究者となったけれども、ほぼ同時代に育った人たちが共通してもっているセンスが、公立大学を触媒として、楽しい議論を生んでいるのだと感動すら覚えました。

以下、多少無理なまとめになります。大学の役割とは教育・研究・社会貢献とされています。でも、それを通じて（あるいは通じなくとも）、所属している学生、教員の間には精神の交流とそれによる成長をもたらすことこそが、より大切な役割だと改めて確認しました。

退職教員あいさつ



退職のご挨拶

准教授 菅原 和行

このたび、3月末日をもって本学を退職することとなりました。本学には11年間在籍し、その間、多くの方々にお世話になりました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

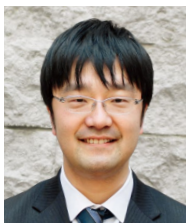
在籍中は学生への指導のあり方が私の一番の課題でした。とくに着任直後は研究と教育の両立に苦心し、試行錯誤が続きました。社会科学を研究しながらも、それまでの生活が大学に完結してしまっていた私にとって、現実の社会について学生たちに語ることは、ある種の後ろめたさも伴うものでした。

そうしたなか、何かの場面においてゼミの学生から「僕たちにとってゼミの先生は先生一人なんですから」と言われ、非常に納得したのを覚えています。学生たちは卒業後、さまざまな人々と出会うでしょうが、研究者という職業の人間と集中的に対話する機会は、多くの場合、学生時代において他

にはないかもしれません。そうであれば、教員の側が学生にとって役立つことを無理に斟酌するよりも、ひとりの研究者として何を考え、社会をどのように捉えているかを率直に伝えるほうが、はるかに重要なのではないかと思います。真摯に研究に取り組む姿を見せることができれば、それがいかに特殊なものであれ、各々の学生が主体的に何か（物事の見方や考え方なども該当するでしょうし、役に立つか否かを短期的に判断できないものも多いはずですが）を学び取ってくれるのではないかと。そのように考えることにより、自分のなかで研究と教育が噛み合った気がしました。

こうした「教育観」によれば、本学の教育・研究環境は非常に理にかなっているように思います。本学では学生からの問いには教職員も懇切丁寧に指導しますが、基本的には学生本人の自主性に委ね、過度に干渉することはありません。また、大学が研究活動を奨励しているため、教員も腰を据えて研究に専念できます。その意味では、本学には研究を重視することによって教育を充実させていくような気風があるようにも感じます。「古くて新しい」大学教育のあり方かもしれません。

これまで皆様からいただいた御恩に感謝しつつ、本学の益々の発展を祈念しております。



遠い日の花火

准教授 下山 朗

2006年に釧路公立大学に着任し、11年間あっという間に時が流れました。着任した当初28歳という学内最年少教員の「ひよっこ」であった私を、多くの人が支え育ててくれたことを本当に感謝しています。教育、研究、地域との関わり、学校行政運営全てにおいて自分のミッションと考え取り組み経験できました。そのおかげで、思い出は山のようにあります。ですので学生との関わり、地域との関わりにわけて語っていきます。

学生との関わりでは、なんとといっても自分のゼミ生です。全部は語れないので、ほんの一部だけご紹介します。2期生は「下山ゼミカラー」を創る最も大切な学年でした。2期生は今でも私と連絡を取ってくれていますし、この2月には下山ゼミ同窓会（全世代が集まるもの）を主催してくれました。おかげで80人を超える大所帯で開催しました。そして5期生

はもう一つの大きな思い出「SCAN」発足の学年です。その後7年にわたるSCANの礎はここで創られました。7期生はそのSCANの活動を拡大し、札幌にてインターカレッジフォーラムを主催してくれました。その第1回のゲストは、(株)セイコーマート（現(株)セコマ）の丸谷社長をお呼びすることが出来ましたし、その伝統は今も引き継がれ昨年開かれた第5回では、ソルトレイク、トリノ、ソチの三度のオリンピックに出場されたカーリングの小笠原選手をお呼びしました。学生の力でこれほど大きなことが出来るようになる、その間近で関わられたことは大きな喜びです。

地域との関わりでは、釧路市役所だけでなく、釧路商工会議所、北海道中小企業家同友会くしろ支部、学生の研究活動を通してお世話になった方々など本当に多くの方とふれあいました。釧路以外でも特に中標津町や厚岸町（役場、企業、市民の方々皆様）には懇意にして頂きました。場所は遠く離れてしまっていますが、皆様との関わりは私にとって財産ですし、ぜひ今後とも関係を築けていけたらと切に願っています。むしろどんどん連絡をしてきてください。すぐに駆けつけます（笑）。

私は釧路そして釧路公立大学に本当に感謝しています。これからも釧路公立大学が道東の拠点として、また釧路が全国の「地域」のロールモデルとして成長していくことを心から願っています。

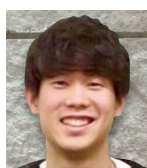
新任教員紹介

●東 裕三 「地方財政論」、「公共経済学」、「財政学」など

●千田 航 「行政学」、「政治学」、「地方自治論」など

●曾我 寛人 「統計解析」、「経営統計」、「統計基礎（経営）」、「数学基礎」など

留 学 を 終 え て



カナダ・キャピラノ大学派遣

経済学科4年 國嶋 翔太

初日から空港に荷物を忘れて、翌日どうやって行けばいいのかもわからないままなんと空港にたどり着いた

のを覚えています。

英語に関しては、読み書きはできるけど聞き取れない、話せない、何て言ってるんだろうこの人…という感じで、始めはとても苦労しました。

現地での生活は日本とは全く違う環境で大変なことも多かったですが、その分、学びも多かったと思います。この経験は自分にとって大きな財産になったと思います。

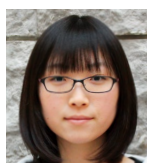


カナダ・キャピラノ大学派遣

経営学科4年 小林 絵里奈

私はこのカナダ留学で、様々な経験を得ながら、充実した日々を過ごすことができました。英語力の向上のみ

ならず、ホストファミリーや友人たちとの出会い、また日々の生活を通じてカナダの文化や祝日の過ごし方などを知ることができたことは、とても大きな財産となりました。楽しいことだけではなく失敗や辛い経験もありましたが、多くの人に支えられていることを実感しました。この経験を今後役に立て、お世話になった方々に成長した姿でまた会いたいです。ありがとうございました。



カナダ・キャピラノ大学派遣

経営学科3年 松浦 穂波

英語で誰かと話す場合、人称の種類が少ないため、私を示す「I」、あなたを示す「You」が必ず使われます。

それは相手が子供であれ、大人であれ、客人であれ、違いはありません。英語で話すうちに、日本語を使う中では感じる事がなかった、「自分が相手と対等である個人」であるということに気付きました。両者の間に、卑屈になる必要も畏まる必要もない、尊重すべき個人という意味が「I」と「You」には含まれているのだと感じました。

学 生 に よ る 市 民 講 座

学生による市民講座「経済学に触れてみよう」を開催しました。

3月に経済学科を卒業した藤森大地です。本講座は学生が講師役をつとめ、地域の課題を学生が探り、市民に還元する目的で開催しています。私が所属する神野ゼミは今年で6回目の参加となりました。

私たちは地域を元気にする方法として「フットパス」と呼ばれる活動を研究してきました。フットパスとはひとことではいえない地域を歩く活動のことです。あらかじめ設定されたコースを複数人で歩き、途中道草などをしながら地域の人々と交流し、地域のありのままの姿に触れ、その新たな魅力を発見して楽しむ活動です。

今回の講座では前半で社会の「豊かさ」について言及し、豊かさにはお金で測れる経済的なものだけでなく、数値で表すことができない人間関係や環境などもその源泉であると解き明かしました。このような地域の人間関係や環境などをフットパスで維持・管理する仕組みを提案し、後半では現在釧路市で行っているフットパスの実践的な活動を紹介しました。

これまでの活動を通して苦労した点は二つあります。

一つ目は何もわからない人たちにフットパスについて説明して理解してもらうことです。そのためには、何度

も説明会を開いたり、実際に一緒に歩いて体験してもらうイベントを開催したりしてきました。そのおかげで、少しずつですが、地域の方々にフットパスという言葉が浸透してきています。

二つ目は、大勢で一つのことに取り組むことの難しさです。活動を通して、共通の目的や志をみんなで共有することや、仕事の役割分担をして情報を共有することなどが重要であると感じました。チームで一つのことを達成することはすごく大変なことだと実感しましたが、この経験は社会に出たらきっと役に立つと感じています。

今後は、今まで研究してきたことをゼミの後輩たちに受け継いでもらい、釧路の地域を元気にする取り組みを継続していきたいです。



大学ニュース

— 平成28年度を振り返って —

- 4月1日(金) 交換留学生来日
韓国の牧園大学より李 昇鎮(イ スンジン)さんが本学の交換留学生として来日した。
- 4月8日(金) 第29回入学式
午前10時より本学29期生の入学式が挙行され、345名(経済学科236名、経営学科109名、男244名、女101名)が晴れて入学した。
- 8月6日(土) オープン・キャンパス
本学の関心を高めてもらうため、オープン・キャンパスを開催。今年で20回目となり、426名の参加者は熱心に話を聞いていた。
- 9月1日(木) 交換留学生来日
台湾の明道大学より劉 育(リュウ イク)さんと吳 建廷(ゴケンテイ)さんが、本学の交換留学生として来日した。
- 9月30日(金)～10月21日(金) 公開講座
平成28年度の公開講座を本学の加藤一郎教授、秋山修一教授、金原いれいね准教授、三輪加奈准教授がそれぞれ個別のテーマで講演を行った。
- 10月7日(金)～9日(日) KPUフェスタ(大学祭)
今まで積み上げてきた実績と経験に趣向を凝らした様々なイベントが催され、より一層、盛況なものとなった。

- 10月14日(金) 特別講演会
上智大学 総合グローバル学部教授前嶋和弘氏より「2016年アメリカ大統領選挙：アメリカ政治・社会の変化と今後」というテーマで講演があった。
- 11月4日(金) 特別講演会
早稲田大学 文学学術院教授嶋崎尚子氏より「炭炭をとおして知る釧路の魅力」というテーマで講演があった。
- 11月24日(木) 平成29年度特別選抜試験
全国より157名(経済学科104名、経営学科53名)の志願者があり、その結果120名が合格した。
- 平成29年度一般入試(前期日程)
大学入試センター試験をもって選考。374名(経済学科269名、経営学科105名)の志願者があり、3月5日(日)に合格発表が行われた。
- 3月8日(水) 平成29年度一般入学試験
[公立大学中期日程]
釧路・札幌・盛岡・東京・大阪の5会場にて実施。1,236名(経済学科766名、経営学科470名)の志願者があり、3月21日(火)に合格発表が行われた。
- 3月23日(木) 平成28年度学位記授与式
第26期の卒業生289名が公立大生として堂々と学位記の授与を受け、さらに成績優秀な5名が特別表彰された。式の終了後、卒業生は学友と記念撮影などをし、別れを惜しみながら巣立っていった。

平成29年度年間スケジュール

4月1日……学年始め	9月22日……前期終了	1月25日……後期定期試験(2/2迄)
7日……入学式	9月25日……後期授業開始	3月1日……卒業生発表
8日……新入生オリエンテーション	10月6日……大学祭(KPUフェスタ)	8日……平成30年度一般選抜試験
10日……全学年オリエンテーション	(10/8迄)	16日……春期休業開始
11日……前期授業開始	11月24日……平成30年度特別選抜試験	23日……学位記授与式
6月25日……開学記念日	12月23日……冬期休業開始(1/9迄)	31日……後期終了
7月25日……前期定期試験(8/2迄)	平成30年	
8月1日……夏季休業開始(9/22迄)	1月10日……授業開始	

活躍する教員

本学で活躍されている教員の著書をご紹介します。



白川 欽哉 附属図書館長
東ドイツ工業管理史論
(北海道大学出版会、2017年1月)

バブル崩壊以後に生まれた多くの方々にとって、ドイツにおける連合国の占領政策、東西冷戦、ベルリンの壁、ゴルバチョフ・ショック、といった出来事は、まるで縁遠いもの感じられるでしょう。カール・ツァイス・イエナ、アウディ、ジメンスといったドイツを代表する工業企業の一部が、ソ連占領地域＝東ドイツにおいて、いかなる事態に翻弄され、展開・衰退していったのかを知りたい方は、図書館で本書を手にとって下さい。



中村 隆文 准教授
カラスと亀と死刑囚
パラドックスからはじめる哲学
(ナカニシヤ出版、2016年9月)

「科学とは論理的な学問である」とか「チェスのように論理的に考えればうまくいくはず」というが、それは本当に正しいのだろうか。「当たり前」ではうまく説明できない事象が姿を現したとき、あなたにとっての「現実」は揺らぎを見せはじめる。それが哲学の契機となる。パラドックスを哲学することで、これまで見えていなかったものが視界に入り、あなたが暮らす現実世界がどのようなものであるのかが再確認されることだろう。

入|学|お|め|で|と|う

体 育 会

体育会会長

渡辺 法郎



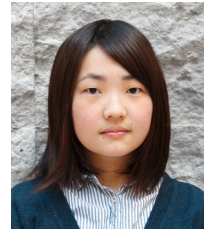
新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。釧路公立大学へようこそ。そして保護者の皆様、お子様のご入学おめでとうございます。新入生のなかにはこれから始まる大学生活とはどのようなものだろうと不安に思っている方も多いと思います。私が実際大学生活を送ってみて思うことは、“意外と自由である”ということです。大雑把な言い方ですが、ほかの大学生に聞いてみても同じように答えるかと思えます。具体的に言うと、大学では決められた枠に合わせて自由に講義を受けることができます。講義以外の時間は友達と遊んだり、バイトをしたり、また部活動やサークル活動に励んだり、これまでとは違い自由な生活が待っています。しかし、遊びに夢中で講義に遅刻したり、学校に来なくなったりしてしまう人がいるのも事実です。決められた単位を取得していないと進級や卒業はできません。そこで先輩である私からアドバイスがあります。大学生活を送るうえで何か一つ目標を立ててください。例えば、TOEICで900点をとる、自転車で日本一周する、お金を貯めてドイツに留学する、など何でもよいです。ただし、その目標を必ず成し遂げてください。ひとつのことを成し遂げることさえかなり困難なことだとは思いますが。しかしそこから自分が将来何をしたいのか見つけてほしいと思っています。

全国から集まった個性豊かな新入生の皆さんが釧路での大学生活を通じ、さらにその個性に磨きをかけて、全国や世界に羽ばたいてほしいと願っています。

文 化 部 会

文化部会長

竹田 風子



新入生のみなさま、ご入学おめでとうございます。釧路公立大学へようこそ。

新しい生活に慣れない中、大学が始まり、戸惑っている人もいるかと思えます。これからの生活に思いを馳せ期待を膨らませている人もいるでしょう。釧路は特に風が強く寒いですから、体調を崩さないように自己管理に気を付けて、お過ごしください。

さて、大学生といえば自己管理が特に大切になってきます。今までの学校生活とは違い、授業の時間割を自分で組み立て、自力で起きなければなりません。家事も一人でこなさなければなりません。特に大事なものは時間の使い方です。規則正しく充実した学校生活を送るか、無為な時間をなんとなく過ごすかは自分次第です。良くも悪くも自分の好きなようにできますから、自由の身を満喫しつつ、自らの生活リズムを早い段階で確立できることをお祈りしています。

大学での生活に馴染むために、人とのかかわりは欠かせません。大学においての人間関係を形成するための機会は、主にサークル活動にあります。同学年の学生はもちろん、普段の講義などで関わる機会の少ない先輩と交流できるなど、交流の輪も広がります。学校生活はもちろんアルバイトの情報なども得ることもでき、生活の大きな助けとなるでしょう。

釧路公立大学の学生も多くの方がサークルに所属し、複数のサークルに所属している人も多数います。学校生活に馴染むためのきっかけとしてお勧めします。

大学には様々なサークルがありますから、少しでも興味の湧いたサークルがあれば、ぜひ積極的に見学してみましよう。私たちはみなさまを歓迎します。ともに楽しい学生生活を送れることを楽しみに待っています。

〈体育会〉27団体
男子アイスホッケー部
硬式テニス部
硬式野球部
サッカー部
準硬式野球部
卓球部
男子バスケットボール部
男子バドミントン部
女子アイスホッケー部
男子バレーボール部
男子ハンドボール部
アメリカンフットボール部

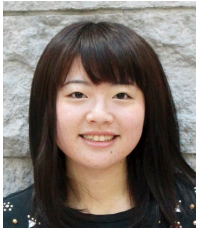
弓道部
剣道部
女子バレーボール部
男子ソフトボール部
柔道部
ラグビー部
陸上競技部
ソフトテニス部
女子ソフトボール部
女子バドミントン部
合気道部
フットサル部
カーリング部

女子ハンドボール部
ミニバレーサークル
〈文化部会〉27団体
軽音楽部
放送研究会Visions
美術部やちぼうず会
カヌー部BOW
茶道部
吹奏楽部
TRPG研究会
ボランティアサークル
写真部

スノーボード部
囲碁部
演劇部
ストリートダンスサークルOZ
軟式野球部
国際交流部
フロアボールサークル
NBA同好会
弦楽アンサンブル
女子フットサル☆CBS
釧路公立大学YOSAKOIソーランサークル
K-SCAN
スケートサークル

釧路公立大学アカペラコーラスサークル
アニーフューチャーゲーム部K.S.F.GP
模型部KMC
観光まちづくり研究部
アームレスリングサークル

〈その他の団体〉
K.P.U.フェスタ実行委員会
釧路公立大学カフェラボ



大学生活を振り返って

経済学科 長谷田 あや

釧路公立大学での4年間は高校生活とは全く違い新しい出会いと経験の日々でした。まず、実家を離れて生活するということは身の回りの管理を自分でしていかなければなりません。初めての釧路での生活に不安があったのですが、下宿に入り同じ学年の友人がすぐにできたので不安より毎日が楽しみになりました。釧路公立大学は地方から通っている学生も多いので、一人暮らしで困ったことがあればお互いにサポートし合えるので心強いです。

部活動は硬式テニス部に所属し、部長を務めたことで自分の成長に大きく繋がりました。大学の部活動は高校とは違い、部費の管理や遠征の宿泊先決めなど、部のことを全て学生自身でしていかなければなりません。試合に向けての練習はもちろんですが、テニス部は男女合わせて40人いる部活なので、集団の中で自分

の役割を理解してチームをまとめていく力を付けることができました。また、テニスを通して先輩や後輩だけではなく同じ大会に出場する他大学の方、市の大会にも出場するので地域の方とも交流を深めることができ、たくさんの出会いがありました。

就職活動は、自分を見つめ直す良い機会になりました。自己分析を行うことで自分はどんな時が嬉しくて、どんな時にやりがいを感じるのかを大学での勉強、部活動やアルバイト等の体験から考えることで、自分にはどんな力があるのかを見つけることができました。あとは、その力をどう仕事で活かすことができるのかを自分の言葉で伝える練習をしていくことが大切です。そのために、学内のキャリアセンターや全国12カ所にある就職支援サテライトを積極的に活用してほしいです。内定を取ることがゴールではないですので悔いのない就職活動を行ってください。応援しています。

最後に、大学生活の4年間はあっという間です。自分に使える時間がこんなにあるのは今だけです。たくさんのことにチャレンジして充実した日々を過ごしてください。皆様のご活躍を心より願っています。



大学生活を振り返って

経営学科 加茂 譲治

釧路公立大学で過ごした4年間は本当にあっという間でした。私は出身が兵庫県で北海道の地には馴染みがなく、不安な大学生活のスタートでしたが、夏場でも涼しい気候で過ごしやすく、自然豊かな土地のおかげですぐに馴染むことができました。この期間で学んだことや、大学生活をおくるなかでできた友人たちとの思い出は、かけがえのないものです。私が大学で一番身に付いたと思うのは、主体性の発揮です。自分で物事を考え、判断し、行動に移すことの重要性は社会人になってから必須なのでぜひ身に付けるべきです。

勉学に関して、一番印象に残っているのはゼミの活動です。私は、アジアと日本の経済の関わりに興味があったので『アジア経済史演習』を履修しました。この活動の目玉は、3・4年合同でプレゼンテーションとディベートを行うことです。先輩と後輩が意見を出し合ったりする機会も中々ないと思います。1つの課

題に向かって取り組むことで、ゼミの仲間とは良い関係を築くことができました。

生活面では約2年間働いていたアパレルのアルバイトから多くのことを学びました。店内でお客様に対して服を販売する接客業を行っていました。マニュアル等は特になく状況で、様々なお客様に対し「どうすれば買っていただけるのか。」ということを中心に考えていました。販売スタッフしか知らない服の着心地や素材の説明など目には見えない価値を説明したりすることで売上に貢献することができました。この経験からも、自分で考え行動する大切さを学びました。

就職活動では不安になることもあるかとは思いますが、自分に自信を持ってください。今まで大学生活で学んだことや、それ以前に積み重ねてきたことを、相手にしっかりと伝えることができれば、必ず良い結果がついてきます。また就職活動は個人戦でもあり、団体戦でもあります。分からないことや不安なことがあれば家族や友人、先生、キャリアセンターの方々に相談することも大切です。

大学生活は長いようで短い期間なのでやり残すことがないように、充実した生活を送ってください。皆様のご活躍を心より願っています。

卒業予定者の内定先リスト (現在の内定状況) 2017/03/23

- 農林漁業** 大原牧場、トップファーム
- 建設業** 北ガスジーブレックス、積水ハウス、田中組、ドーコン、日本ハウスホールディングス、北海電気工事、北海道セキスイハイム、三井ホーム北海道
- 製造業** 阿部繁孝商店、石田鉄工、大塚製菓、北菓楼、須田製版、第一電材、武田薬品工業、ディームファクトリー、東洋印刷、日本板硝子東北、能代オリエンタルモーター、パナソニックデバイス帯広、林精器製造、ホクレンくみあい飼料、北海道糖業、マイプリント、松希、マルビ製材、持田製菓、モリタン、ヤスタファインテ
- 卸売・小売業** アークス、旭川スズキ販売、伊東屋、伊藤忠メタルズ、エコノス、大規模食材、小田商店、小田島商事、おてんとさん、国分北海道、コメリ、斉藤薬局、札幌丸井三越、サンボット、しまむら、スズキ自販右手、ステップ、セブン・イレブン・ジャパン、竹山、丹波屋、DCMホームック、鉄建、寺岡北海道、デンコードー、東急百貨店、トータルフーズ、トヨタL&F栃木、トヨタカローラ苫小牧、DORAL、ナシオ、パイタルネット、ハミューレ、ビッグモーター、ファミリーマート、福原、フロンティア、ほくやく、北良、細谷地、北海道コカ・コーラボトリング、北海道森永乳業販売、マックスバリュ北海道、三ツ輪商会、ミニストップ、モロオ、山田機械工業、ユニバース、ラルズ
- 金融・保険業** あいおいニッセイ同和損害保険、青い森信用金庫、秋田信用金庫、旭川信用金庫、網走信用金庫、一関信用金庫、岩手銀行、SMBC日興証券、SMBCフレンド証券、遠軽信用金庫、渡島信用金庫、かんぽ生命保険、北日本銀行、釧路信用金庫、釧路信用組合、損害保険ジャパン日本興亜、大地みらい信用金庫、大和証券、東海東京フィナンシャル・ホールディングス、東京海上日動火災保険、十勝信用組合、砺波信用金庫、苫小牧信用金庫、日本生命保険、野村證券、飛騨信用組合、北洋銀行、北海道銀行、北海道信用漁業協同組合連合会、北海道信用保証協会、北海道労働金庫、室蘭信用金庫、明治安田生命保険、ゆうちょ銀行
- 運輸・情報通信** アール・エム、北日本コンピューターサービス、キューブシステム、サカイ引越センター、産業経済新聞社、ソフトバンク、TIS北海道、トランスコスモス、日本情報産業、日本ブレーン、パレットグループ、ファインズ、ホープス、北海運輸、北海道新聞社、北海道中央バス、北海道旅客鉄道、三ツ輪運輸、よつ葉物流、ラディックス
- 電力・ガス** ほくでんサービス
- 不動産業** 三光不動産、スミタス、住友不動産販売、セントラルリーシングシステム、大東建託、北海道空港、三井不動産リアルティ札幌
- サービス** アウトソーシングテクノロジー、秋田ふるさと農業協同組合、あきんどスシロー、石狩市農業協同組合、インテリジェンス、インテリジェンスビジネスソリューションズ、ANA新千歳空港、栄光商会、エイチ・ピー・エヌ、エクシオジャパン、EVERLONG、エムエムエスマンションマネージメントサービス、エムジー・コーポレーション、オハナ、上土幌町農業協同組合、きたみらい農業協同組合、きちり、近畿

日本ツーリスト北海道、三幸学園、正栄プロジェクト、進学会、セントケア・ホールディング、創和プロジェクト、テクノマインド、函館市亀田農業協同組合、ビンネ農業協同組合、北海道漁業協同組合連合会、北海道農業共済組合連合会、マーキュリー、マイナビ、向瀧、名鉄観光サービス、芽室町農業協同組合、山形県農業共済組合連合会、ヤマチコーポレーション

■**国家公務** 青森労働局、陸上自衛隊一般幹部候補生、陸上自衛隊曹候補生

■**地方公務** 網走市役所、池田町役場、岩手県警察、江別市役所(消防)、遠軽町役場、鹿児島県警察、釧路市役所、警視庁、警視庁(事務職)、札幌市消防、札幌市役所、鹿追町役場、弟子屈町役場、二戸消防本部、沼田町役場、兵庫県警察、深川市役所、北海道警察、北海道庁(一般行政)、北海道庁(教育行政)、北海道庁(警察行政)、山形県庁(警察行政)

■**進学** 南山大学法科大学院、北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院

■**その他進学** 札幌工科大学院、北海道農業協同組合学校

平成28年度卒業予定者の就職状況

2017/03/23現在

1. 求人件数及び内定状況

区分	求人件数	卒業(予定)数	就職希望者	内定者数	内定率(%)	未定者数
男子		219	199	188	94.5	11
女子		74	69	64	92.8	5
共用	956	—	—	—	—	—
合計	956	293	268	252	94.0	16

2. 進路別内定状況

進路	男子				女子				計			
	希望者数	内定者数	未定者数	内定率%	希望者数	内定者数	未定者数	内定率%	希望者数	内定者数	未定者数	内定率%
民間	166	158	8	95.2	62	58	4	93.5	228	216	12	94.7
公務	33	30	3	90.9	7	6	1	85.7	40	36	4	90.0
計	199	188	11	94.5	69	64	5	92.8	268	252	16	94.0
進学	3	2	1	66.7	0				3	2	1	66.7
その他進学	2	2		100.0	0				2	2	0	100.0
無業	14		14	0.0	4		4	0.0	18	0	18	0.0
計	19	4	15	21.1	4	0	4	0.0	23	4	19	17.4
合計	218	192	26	88.1	73	64	9	87.7	291	256	35	88.0

3. 産業別地域別内定状況

業種	釧路管内		北海道内		北海道外		計		合計	割合
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子		
製造			16	5	10	3	26	8	34	13.5
卸売・小売	2	1	30	5	18	2	50	8	58	23.0
金融・保険	3	3	17	11	11	5	31	19	50	19.8
運輸・情報	4		7	2	6	5	17	7	24	9.5
電力・ガス				1			0	1	1	0.4
サービス	1		22	8	11	7	34	15	49	19.4
公務	4	4	15	1	11	1	30	6	36	14.3
計	14	8	107	33	67	23	188	64	252	—
合計	14	8	107	33	67	23	188	64	252	100.0
割合	22		140		90		252			
	8.7%		55.6%		35.7%		100.0%			

◎平成29年度前期授業料の納付について

前期授業料は5月1日までに納めてください。最寄の金融機関から、同封の「納入通知書兼領収書」でお振込みください。特別な事情により授業料の分割納付や減免を希望される場合は、学年毎に指定された受付日に関係書類を提出してください。

編集後記

4年生が就職活動の時期を迎えています。時代は変われど、学生の悩みは一緒です。「自分は何がしたいのだろう」「自分は何に向いているのだろう」。すぐに答えは出ませんが、探し続ける必要があります。

アップル社の創業者の一人、スティーブ・ジョブズはかつて、大学を卒業しようとする人たちに、「時間は限られている。他人の考えた人生を歩むな。自分の内なる声を聴け」といいました。社会へと向かう学生には、周囲に流されることなく、自分のこれまでの歩みを振り返り、湧き上がる声に耳を傾けてほしいものです。

釧路公立大学だより 第55号

平成29年4月1日発行

◎発行元

釧路公立大学

〒085-8585 釧路市芦野4丁目1番1号

TEL 0154-37-3211(代)

FAX 0154-37-3287

学生課：TEL 0154-37-5091

URL・http://www.kushiro-pu.ac.jp/

◎発行日

毎年2回(4月1日、10月1日)